

4 『酪農景観を楽しもう!』ルート

1.厚床(交差点)

8.5km 10分

2.新酪展望塔

12.5km 15分

3.AB-MOBIT(事務局:明郷 伊藤 牧場)

18.0km 22分

4.新酪農村展望台

8.0km 10分

5.別海町内(バスターミナル)

厚床 別海

ねむろの酪農景観を楽しみたいならこのコース。のんびり草をはむ牛や馬の姿を見ると和むなぁ。。。おっと、脇見運転は禁物!景観は、駐車帯など安全なところに車を停めてゆっくり楽しもう。

広がる酪農景観

2、4の展望塔に昇ってみよう! 広大な酪農地帯が一望できるよ。なだらかな丘陵を描くねむろの酪農景観は、まるでヨーロッパの田舎のようだとも言われています。



(新酪展望塔)



守ろうシマフクロウの棲むこの森を

この地域は、国の特別天然記念物のシマフクロウが息していると言われていています。森の奥深くに棲んでいるので姿を見ることはまず不可能。決して無理に森の中に分け入って彼らの生活を脅かさないでください。シマフクロウが安心して暮らせる森を守る取り組みが地域で行われています。
*どうしても見たいという方は 8/22 を見てくださいね。



「酪農のまち別海」

別海町は、農業、漁業どちらも盛んですが、今回は農業の話。別海町の牛の数は約11万頭(平成23年2月現在)。なんと人口(約16,000人)の7倍もの数の牛がいる酪農大国なのです。

広大な牧草地で育てられた牛から搾られる牛乳は、おいしさ満点!ソフトクリームは是非食べてみて! また、べつがい乳業興社²⁶では、べつがい牛乳を使ったアイスクリーム、チーズ、バターなどが買えるほか、さけるチーズ作り体験(要予約)などもできますよ。30ページも見てね。



「フットパス」を楽しもう!

「美しいねむろの酪農地帯を歩いてみたい!」と思った方へ。。。イギリスの田園地帯などには、フットパスと呼ばれる歩行者専用の道があり、私有地の牧場であっても、フットパスに承認されている地域であれば自由に通行ができ、人々は田園風景や森林などを歩き景観などを楽しんでいます。このスタイルを北海道でいち早く取り入れたのが「根室フットパス」。厚床ルート、初田牛ルート、別当賀ルートの3つのルートがあるよ。時間があたら是非歩いてみて。明郷 伊藤 牧場の酪農喫茶が事務局。歩き疲れたら、ここでちょっと休憩を。



(根室フットパス)